2022 年度 2 学期始業式式辞

陰謀論に気をつけて

2022 年 9 月 1 日

兵庫県立播磨南高等学校長 吉田尚美

今日から 2 学期が始まりました。みなさんは充実した夏休みを過ごせましたか。

今日配布する、学校新聞にカルトについて書きましたが、今回はカルトも含めネット上にあふれる陰謀論について話したいと思います。

私が大学生の時、同級生だった小野さんは、夏休み明けに会うと、別人のようになっていました。丈の長いワンピースを着たロングヘアーのおしゃれな人から、ジーンズと白い T シャツ姿で髪を一つに束ね、化粧気のない人に変っていたのです。そして、私に壺を買わないかと持ちかけてきました。「あなたは 20 万円がいい。これを買えば死んだ後に幸せになれる。」と言います。「私は 20 万円がいいと言うのは、他の人にはもっと高く売るのが? どうして死んだ後に幸せになれるとわかるの?」と聞くと、「持っているお金に応じて値段は変わる。あなたは大学生でお金がないから 20 万円がいい。死後幸せになれることは、一度死んで戻ってきた人がはっきり証言している。」と言います。「人によって売る値段が変わるのは騙していることにならないの?」と聞くと「騙されて買ったとしても、買ったという実績があれば死んだ後にサタンから逃れられる。それも証明されている。」と言いました。小野さんは統一教会に入っていたのですが、その後、合同結婚式で初めて会った人と結婚しました。今幸せに暮らしているかどうかはわかりません。

統一教会は、この世はサタンに毒されていると教えていますが、このように強大な権力を持つ人物あるいは組織が、一般の人に知られないように不正な行為を行っているといった考え方を陰謀論と言います。他にも「アメリカは闇の政府に支配されている。悪魔を崇拝し子供に性的加害を行う者達に対してトランプ大統領は秘密の戦争を繰り広げている」と説く Q アノンや、新型コロナウイルスは、人口を減らそうとする陰謀だ。ワクチンによってマイクロチップを埋め込んでいる。などの陰謀論がネット上にあふれています。

みなさんも、これからの長い人生の中で、陰謀論やカルトに誘われる機会があるのではないかと思います。そこで、どうすれば荒唐無稽な陰謀論やカルトにはまらず、正しく不正や陰謀を見抜く力をつけられるのかを考えてみたいと思います。

そもそも、全く荒唐無稽な話をなぜ信じてしまうのか。どうして陰謀論が広まっているのでしょうか。今、世界は新型コロナウイルスやウクライナへの侵略戦争、異常気象など大きな不安に覆われています。問題は複雑で、解決の道筋が見えません。私たちは複雑な問題を簡単に解決できたらと考えてしまいます。私たちには複雑で不確実なものを嫌い、単純な説明を求める傾向があります。そこで、陰謀論が登場します。悪の張本人を特定し、それさえ排除すれば問題は解決すると単純化するのです。

今のネット社会では自分で情報を検索します。自分が同意できない情報は無視し、同意できる情報のみを集めてしまうので、自分がいかに正しいかを強化してしまう恐れがあります。これを「確認バイアス」（バイアスは「偏見 思い込み」の意味）と言います。この確認バイアスによって、全く根拠のない馬鹿げた陰謀論を、ネットの情報で強化してしまい、信じてしまうのです。

一方、本当に何らかの陰謀が隠れていることもあります。今回の統一教会と政治家との関係のように、一般の人に知られないように、名前を変えて裏で政治家とつながって、不正な行為を行っていたことも実際にあるのです。

では、うその陰謀と本当の陰謀を見分けるにはどうすればよいのでしょうか。それには、次の視点が必要です。

- ①自分の意見と違う情報にも目を向け、いろいろな意見を聞く。
- ②科学的、論理的に考える。
- ③判断を誰かに委ねず、自分の頭で考える。
- ④複雑なものを無理に単純化しようとせず、複雑なものを複雑なままじっくりと考える。
- ⑤よくわからないことに耐えて、考え続ける力をつける。

つまり、共感と科学的思考が大切です。学校での勉強は共感と科学的思考を身につける役に立ちます。しんどくても、面倒でも、人の意見をしっかりと聞いて、自分の頭で考える力を身につけてください。